

大和公民館だより

発行者 大和公民館
 〒409-1203 甲州市大和町初鹿野 1693-1
 館長(有賀) [] 主事(三枝) []

今年度の「大和公民館事業計画」が決定しました

公民館事業計画等を審議する大和公民館運営委員会が、去る3月3日開催され令和3年度の事業計画が次のように決定されました。

なお、事業実施の際は、その都度公民館だよりでお知らせします。

○ 公民館主催事業

- ヨガ体験教室 □やまとまち歩き □バドミントン教室 □童謡教室
- 文化講演会 □吹奏楽演奏会 □社交ダンス教室 □和太鼓教室 □生け花教室
- 門松づくり □かるた取り大会

○ 公民館共催・協力事業

- 大和子育てサロン □盆踊り練習会 □ふるさと大和夏まつり □軽スポーツ教室
- 大和地区体育祭 □大和地区文化祭 □クリスマスコンサート □春のお話し会

なお、新型コロナウイルス感染防止のため、計画が変更あるいは中止になる場合もありますのでご承知ください。



◇ 今年の「ふるさと武田勝頼公まつり」は

第56回目となる「ふるさと武田勝頼公まつり」は、新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小して4月25日に景德院境内において開催されます。当日は、勝頼公墓前献花や感謝告文の朗読、巫女の舞の奉納、甲斐天目山勝頼公太鼓が奉納されます。

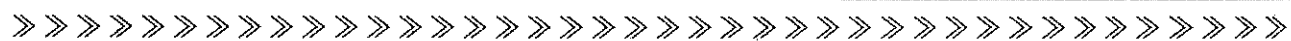
☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新型コロナウイルス感染防止のために

新型コロナウイルス感染防止のため、マスクの着用、手洗い及び手指の消毒を忘れずに。また、3密の回避を心がけましょう。

4月・地域の行事案内

4/5(月) 大和保育所入所式
 4/6(火) 大和中学校入学式
 4/7(水) 大和小学校入学式



※ 大和地区の世帯数・人口 (令和3年1月1日現在)

	世帯数	人 口			人口の前年比 (2・1・1)
		男	女	計	
大和地区	464世帯	510人	558人	1,068人	△31人
甲州市合計	13,118世帯	14,876人	15,890人	30,766人	△468人

楽しみました「軽スポーツ大会」

去る3月13日、大和の杜アリーナに於いて「軽スポーツ大会」が開催されました。この大会は福寿会、文化協会大和支部、スポーツ協会大和支部、大和ふるさと会館及び大和公民館の共催で、当初は「グラウンドゴルフ大会」を予定しましたが、雨天のため室内で軽スポーツを行ったものです。

参加者51人が「ビーンボーリング」、「フロア・カーリング」、「円盤的当て」、「輪投げ」等の普段はなじみが薄い軽スポーツと、漢字を書く「頭の体操」に挑戦し、得点を競ったもので参加者は簡単なようで意外に難しいと言いながらもゲームを楽しんでいました。当日の成績は次のとおりです。なお、この模様は後日CATVで放映される予定です。

○個人の部（敬称略）

○小学生の部（敬称略）

○団体の部

1位 ジェイク（大和小）

1位 佐藤杏咲（宮本）

1位 日影チーム

2位 古屋秀幸（丸林）

2位 宮本チーム

3位 堀内亀一（宮本）

3位 大和小教諭チーム

TT

笹子峠の西の麓の伝説・民話

子狸の恩返し（こだぬきのおんがえし）

昔、親孝行な少年がおった。家は貧しい百姓で母親は病気がちであった。少年は父親を助け、山仕事や野良仕事に一生懸命精出していた。

山の木の葉も散った冬の初めの頃になると、大きな籠を背負って山に行き落ち葉かきをして、堆肥づくりをした。檜山で南向きの中腹に窪地があり、落ち葉の吹き溜まりで落ち葉かきには真向きのところで冬でも暖かく村人は姥の懐と呼んでいた。

少年は、姥の懐に行き来る日も来る日も落ち葉かきをした。ある日、籠を背負って帰る途中、林の中でガサガサと音がするので近寄ると、誰がかけたか畏に子狸がかかりもがいていた。可哀そうに足に怪我をしているので、畏から外し懐に入れて家に連れ帰った。

少年は、子狸の傷の手当てをして、食べ物を与え大事に飼っていた。幾日かたつと傷も治り、子狸はすっかり元気を取り戻した。そこで少年は、子狸を連れて姥の懐に行き親狸のいる山に返してやった。子狸はうれしそうに後を振り向きながら林の奥へ姿を消した。

次の日、少年が姥の懐に行くと落ち葉が山ほど高く集めてあった。誰が集めたのかと思ってそばを見ると、子狸と親狸がありがとうと言わんばかりに尾を振っている。狸の親子がお礼に集めていたのであった。その落ち葉を籠に詰め込んでいると、お金が現れたので驚いて拾い上げた。どうしてこんな山の中にお金があるのか変だと思った。子狸が化けたのではないかと思い、手拭いでしっかり包み家に持ち帰りしばらく様子を見ていたが、何の変化もない。そのうち開いてみたがやはり子狸ではなく本物のお金であった。

少年が父親にこのことを話すと、父親は笑いながら「それは子狸を助けた恩返しだ」と云った。